

無線通信研究委員会

WP 6B (ジュネーブ)

報告書 (案)

平成 25 年 4 月 22 日 ～ 4 月 25 日

目次

1	まえがき	1
2	会議の概要	2
2.1	オープニングの挨拶	2
2.2	会議の構成	3
2.3	主要結論	3
3	審議の内容	5
3.1	インターフェース・符号化・メタデータ (SWG-1)	5
(1)	シリアルデジタルインターフェース、IP インターフェース	5
(2)	符号化 (映像・音声)	6
(3)	ファイル	7
(4)	多重化	8
(5)	メタデータ (BWF).....	8
(6)	その他	9
3.2	マルチメディア放送、ハイブリッド放送 (SWG-2)	11
(1)	携帯受信向けマルチメディア放送システム	11
(2)	ハイブリッド放送	12
(3)	アクセサビリティ	14
(4)	VIS	15
3.3	その他 (全体会合)	15
(1)	その他	15
3.4	ラポータとラポータグループ	15
3.5	次回開催予定	16
4	あとがき	16
	表1 日本からの出席者	17
	表2 入力文書一覧 (50 件)	18
	表3 出力文書一覧 (26 件)	21

1 まえがき

国際電気通信連合無線通信部門（ITU-R）第6研究委員会（SG6：放送業務）の作業部会 WP6B（放送サービスの構成およびアクセス）会合が下記の通り開催された。

（本報告書において、すべて敬称略とする）

開催日 : 2013年4月22日（月）～25日（木）
開催地・会場 : ITU本部（スイス・ジュネーブ）
議長 : 西田幸博（NHK）
副議長 : P. Dare（ソニー）、平川秀治（東芝）、P. Zaccarian（イタリア）
参加者 : 24ヶ国・13組織・機関から合計86名（名簿登録者）（出席者数40名程）
日本からの参加者（表1参照）

入力文書 : 50件（表2参照）
出力文書 : 26件（表3参照）

新勧告案 : 2件

- ・新勧告案 ITU-R BT.[3D-BRR] 「放送における HDTV 3DTV 番組の国際番組交換のための伝送方式」
- ・新勧告案 ITU-R BT.[IBB] 「放送指向型ハイブリッド放送（放送・広帯域通信統合システム）とその想定される利用法に対する一般要求条件」

新レポート案 : 2件

- ・新レポート案 ITU-R BT.[SDI-IP] 「SDI（シリアルデジタルインターフェース）設備と IP（インターネットプロトコル）設備の統合」
- ・新レポート案 ITU-R BT.[IBB-Report] 「ハイブリッド放送（放送・広帯域通信統合システム）」

レポート改訂案 : 1件

- ・レポート BT.2249 改訂案「デジタル放送とマルチメディア映像情報システム(VIS)」

オピニオン廃止提案 : 1件

- ・オピニオン ITU-R 90 「プロフェッショナル用番組制作設備における機器接続」の廃止提案

事務局長からの ICT の役割に関する相談に対する返答 : 1件

新勧告草案 : 3件（次会合で継続審議）

- ・新勧告草案 ITU-R BT.[MTMM] 「移動受信向けマルチメディア放送システムにおける伝送・多重化方式」
- ・新勧告草案 ITU-R BT.[CEMM] 「移動受信向けマルチメディア放送システムにおけるコンテンツ要素」
- ・新勧告草案 ITU-R BT.[IBB-Tech] 「放送指向型ハイブリッド放送（放送・広帯域通信統合システム）に対する技術要求条件」

勧告改訂草案 : 1件（次会合で継続審議）

- ・勧告 ITU-R BT.1833-2 「携帯受信向けマルチメディア・データ放送」改訂草案

レポート改訂草案： 1 件（次会合で継続審議）

- ・ レポート BT.2049-5「携帯受信向けマルチメディア・データ放送」改訂草案

新レポート草案に向けた作業文書： 1 件（次会合で継続審議）

- ・ 新レポート草案「世界中のすべての文字セット（ラテン系と非ラテン系）における字幕の制作、放送、交換」へ向けた作業文書

新研究課題草案： 1 件（次会合で継続審議）

- ・ 新研究課題草案「ラウドネス準拠の識別方法」

2 会議の概要

2.1 オープニングの挨拶

(1) WP6B 議長の挨拶

前会合では、5 つの文書を SG6 に提出した。勧告 BR.1352 の改訂案に対し、1 カ国の反対があり、WP6B に差し戻しになっているが、それ以外はすべて承認され、ITU-R の Web に掲載されている。

IBB システムに関する勧告やレポートの草案・作業文書があり、今会合でいくつか完成することを期待している。携帯端末受信向けのマルチメディア放送に関して、勧告 BT.1833 の再編を行う作業がラポータを中心に進められており、勧告 BT.1833 改訂草案、レポート BT.2049 改訂草案、2 つの新勧告草案があり、今会合でほぼ完了することを期待している。3DTV では圧縮された信号での国際番組交換のための伝送方式に関する新勧告草案が前会合で作成されている。今会合でこれをどう進めるのが最良か、議論したい。新レポート草案 ITU-R BT.[SDI-IP] SDI（シリアルデジタルインターフェース）設備と IP（インターネットプロトコル）設備の統合と題する新レポート草案もある。これについても進展を期待したい、と発言した。

(2) SG6 議長の挨拶

参加者全員の協調の精神によって、放送サービスや情報化社会に貢献するべく、4 日間という短い日程のなかで、できるだけ多くの結果が出力されることを期待している旨の挨拶があった。

(3) 事務局からの連絡事項

ITU-R SG6 のカウンセラーである Nangapuram VENKATESH から次の事項が説明された。事務局からの紙による文書配布はなくなり、寄書、ADM、INFO の文書はすべて電子ファイルによる発行のみとなった。文書ファイルをダウンロードする必要があるが、Sync application という ITU-R 文書サーバーと同期するソフトウェアを準備しており、インストールして利用すると便利である。Sharepoint はこれまでどおり準備しており、SWG 等での文書交換・配布をする際に便利である。改訂案を作成する際には、最新版の勧告、レポートに対して変更履歴を付けることが求められている。TEMP 文書の提出は、4 階のセクレタリに直接 USB で提出するか、メールで送付する場合は電話等で受け取りを確認す

ること、Web 会議システムを利用したリモート参加が可能になっており、必要な場合は事前にスタッフにコンタクトすること、リモート参加も参加者リストに掲載されること、今会合でのリモート参加者として Oleg Gofaizen (ウクライナ) が登録されていること、翌日リモート参加できる形での会合を予定していることなどを述べた。

2.2 会議の構成

全体会合（プレナリ会合）の下に、以下の 2 つのサブワーキンググループ（SWG）を構成し、審議を行った。

- (1) SWG-1（インターフェース、符号化、メタデータ） 議長：Peter Dare（ソニー）
- (2) SWG-2（マルチメディア・ハイブリッド放送、VIS） 議長：平川 秀治（東芝）

2.3 主要結論

- (1) 新勧告案 ITU-R BT.[3D-BRR] 「放送における HDTV 3DTV 番組の国際番組交換のための伝送方式」

HDTV-3DTV 番組の国際番組交換を行うための圧縮符号化伝送に対する要求条件的な内容の新勧告案である。Appendix (Informative) として、H.264/AVC の Level や Profile、想定されるビットレートが参考情報として記載されている。2012 年秋会合では、新勧告草案 は HDTV-3DTV 形式に特化したものであるとの主張と、映像形式に依存しない形にすべきであるとの主張に分かれ、どちらを進めるかについての結論・合意はなかった。このため、今会合に映像形式に依存しない形での修正案文書の提出があると予想されたが、新勧告草案を支持する寄書が提出されたのみで反対や継続検討が必要な寄書はなく、そのまま HDTV-3DTV 形式に特化した内容の新勧告案として進めることで合意され、SG6 へ提出された。（SG6 にて仮採択）

- (2) 新レポート案 ITU-R BT.[SDI-IP] 「SDI（シリアルデジタルインターフェース）設備と IP（インターネットプロトコル）設備の統合」

フジテレビジョンで導入された、SDI 信号を IP ベースの局内ネットワーク上で伝送するシステムの導入例を記載した日本寄書(6B/59)に基づき作成された新レポート案である。2012 年秋会合では、IP 技術を利用した伝送方式をスタジオや局内伝送に導入しようとする動きがあり、新たな時代の幕開けとも言うべき極めて重要なレポートであるとの賞賛の声があった。一方、IP ネットワークを利用しての番組制作や番組交換における課題と、それに対する解決法も新レポートに記載していくべきであるとの意見もあったが、今会合にはこれに関する新たな入力はなく、新レポートに必要なないテキストの削除や表現上の微修正を行った後、新レポート案として合意され、SG6 に提出された。（SG6 にて承認）

- (3) UHDTV 用デジタルインターフェースの提案募集

オーストラリアが研究課題 130-2/6 の改訂提案に関連して、プロダクション環境とポストプロ環境で UHDTV 用デジタルインターフェースがない事が大きな問題であり、UHDTV を実現するためにはデジタルインターフェースの開発が必要不可欠である

ことを強く主張した。オーストラリアが求める早期の標準化を実現するように、WP6B 議長レポートに、UHDTV インターフェースの提案を行う寄書提出を促すテキストが記載された。SDO において既に規格化されている UHDTV 用デジタルインターフェースを ITU-R 勧告とすれば良いとの考え方を持つメンバーもいると想定されることから、少なくとも 2013 年秋会合には日本としての UHDTV 用デジタルインターフェースに関する考え方を示す寄書を準備すべきである。

(4) 新たな柔軟性・拡張性のある音声ファイル形式を検討するラポータグループを設立

2012 年秋の SG6 会合で、BWF (Broadcast Wave Format) を規定する勧告 BR.1352-3 の改訂案が仮採択されたが、採択・承認手続き時にドイツが EBU 勧告と ITU-R 勧告との間で、同じバージョン番号で異なるパラメータを規定することから互換性が失われることを理由に反対し、WP6B に差し戻された。複数の組織からいくつかの解決法が提案された他、1 組織から今回の改訂案を取り止めるべきとの提案がなされた。ダイアログラウドネスを巡る(潜在的な)主張の隔たりがあるため、差し戻された改訂案を議論しても解決することはできないと判断し、柔軟性・拡張性のある新しい音声ファイル形式を確立すべきとの方向性が了承され、ラポータグループ(RG)が設立された。要求条件の確立、XML の使用に関するガイドライン、多チャンネル長時間番組用フォーマット、メタデータ、相互運用性、互換性、他の SDO との連携など音声ファイル形式に関する幅広い観点から研究することになっており、2013 年秋会合で報告する予定になっている。RG 議長は David Marston (BBC) が指名されている。

(5) 勧告 BT.1833-2 「携帯受信向けマルチメディア放送・データ放送」の再構築

1 つのアプリケーションに対して併記されるシステムが 9 個あり、各システムの共通性や相違点が分かりにくくなっていることから、2012 年秋会合で、3 つの勧告と 1 つのレポートに再構築する案が合意されている。これに基づき、今会合では要求条件と各システムの概要を記載する勧告 BT.1833、各システムを詳述するレポート BT.2049 の改訂草案が作成された。2012 年秋会合で作成されたマルチメディア符号化・モノメディア符号化に関する新勧告草案、伝送・多重化方式に関する新勧告草案と併せ、4 つの文書が揃った。変更箇所が非常に多いことから、重複や不整合などの観点を含めて 6 ヶ月間かけて十分に精査・確認することになっており、2013 年秋会合では 4 つの文書を一括して SG6 に提出することが期待されている。

(6) 新勧告案「放送指向型ハイブリッド放送（放送・広帯域通信統合システム）とその想定される利用法に対する一般要求条件」

2012 年秋会合で作成された新勧告草案「放送指向型ハイブリッド放送（放送・広帯域通信統合システム）とその想定される利用法に対する一般要求条件」に対し、独 ZDF からの要求条件をより明確にする趣旨の修正提案が提案され、採用された。放送指向型ハイブリッド放送の定義を脚注に追加した後、新勧告案として合意され、SG6 へ提出された。(SG6 で仮採択)

(7) 新レポート案「放送指向型ハイブリッド放送（放送・広帯域通信統合システム）」

2012 年秋会合で作成された HbbTV および BML 拡張によるハイブリッド放送が収録された新レポート草案に向けた作業文書に対し、独 ZDF からの HbbTV に関する情報更新、日本の Hybridcast に関する情報追加を行った。また、放送指向型ハイブリッド放送(IBB システム)の定義を脚注に追加した。これらの修正が行われた後、前会合では作業文書であったが、放送指向型ハイブリッド放送（放送・広帯域通信統合システム）に関する情報を集めた新レポート案として SG6 に提出すべきレベルになったとの意見が出され、SG6 へ提出することが合意された。（SG6 で承認）

(8) 新レポート草案へ向けた作業文書「世界中のすべての文字セットに対する字幕の制作、放送、交換」

日本寄書によって提供された字幕に関する制作、放送、交換に関する情報により、非ラテン系文字での字幕はラテン系文字の字幕とかなり異なることが関心を呼び、世界中の文字セット、とりわけ非ラテン系文字を用いた字幕に関する情報を収録する新レポート案を作成することが合意された。今会合では日本寄書をベースとした作業文書が作成され、次会合に向けて各国で使用されている字幕に関する情報提供が促されている。

3 審議の内容

3.1 インターフェース・符号化・メタデータ（SWG-1）

(1) シリアルデジタルインターフェース、IP インターフェース

入力文書 6B/78 An.5、108

出力文書 6B/TEMP/56

審議結果

● 新レポート案 ITU-R BT.[SDI-IP]「SDI（シリアルデジタルインターフェース）設備と IP（インターネットプロトコル）設備の統合」

- ・ フジテレビジョンで導入された、SDI 信号を IP ベースの局内ネットワーク上で伝送するシステムの導入例を記載した日本寄書(6B/59)に基づき作成された新レポート案である。2012 年秋会合時に新レポート草案（6B/78 An.5）として議長レポートに添付され、今回、反対や修正を求める寄書がなかったことから、新レポートに必要な記載の削除や表現上の微修正を行った後、新レポート案として合意され、SG6 に提出された(6B/TEMP/56)。（SG6 にて承認）

● 研究課題 ITU-R 130-2/6 改訂案「放送用テレビ番組の制作、後処理、国際番組交換のためのデジタルインターフェース」

- ・ オーストラリアから、デジタルインターフェースに関する研究課題 ITU-R 130-2/6 の改訂提案文書(6B/108)が提出された。オーストラリアが寄書の説明を行い、プロダクション環境とポストプロ環境で UHD TV 用デジタルインターフェースがない事が大きな問題であり、UHD TV を実現するためにはデジタルイ

ンターフェースの開発が必要不可欠であると主張した。そして、ITU-R での UHDTV デジタルインターフェースの標準化を進めていくために、Considering m)として、他の SDO (Standards Developing Organization)が既に UHDTV 用のデジタルインターフェースを開発していることを追加する提案を行った。

- ・ これに対して、日本(WP6B 議長)より、プロダクション環境やポストプロ環境で UHDTV 用デジタルインターフェースが欠如しており、速やかな標準化が必要であることには同意するが、研究課題に提案された変更を行っても、標準化に必要な寄書提出を促すことにならない。既に UHDTV 用のデジタルインターフェースを規格化している SDO もあるが、その仕様は ITU-R 勧告 BT.2020 と完全互換になっているわけではない。研究課題 130-2/6 は、UHDTV インターフェースを対象にしており、提案されたテキストの追加は意味がない。むしろ、要求条件を明確にし、議長レポートに寄書提出を促すテキストを記載する方が有効であるとの発言があった。
- ・ これを受けて、オーストラリアから、満たすべき条件は「セキュアで国際的な 1つのインターフェース」であるとの発言があった。
- ・ 審議の結果、オーストラリアが求める早期の標準化を実現するように、WP6B 議長レポートに、UHDTV インターフェースの提案を行う寄書提出を促すテキストを記載することを条件に、研究課題 130-2/6 に関する改訂提案を取り下げることで合意された。

(2) 符号化（映像・音声）

入力文書 6B/78 An.1、6B/85、88、89、90、98、104、115

出力文書 6B/TEMP/55、58、62

審議結果

- 新勧告案 ITU-R BT.[3D-BRR] 「放送における HDTV 3DTV 番組の国際番組交換のための伝送方式」
 - ・ 伝送方式とタイトルにあるが、HDTV-3DTV 番組の国際番組交換を行うための圧縮符号化伝送に対する要求条件的な内容の新勧告案である。Appendix (Informative) として、H.264/AVC の Level や Profile、想定されるビットレートが参考情報として記載されている。2012 年秋会合では、この新勧告草案 (6B/78 An.1) は HDTV-3DTV 形式に特化したものであるとの BBC、CBS、日本などの主張と、米国の映像形式に依存しない形にすべきであるとの主張に分かれ、どちらを進めるかについての結論・合意はなかった。このため、今会合に米国から寄書提出があると予想されたが、結果として、BBC、CBS から新勧告草案を支持する寄書(6B/104)が提出されたのみで、反対や継続検討が必要な寄書はなかったため、そのまま HDTV-3DTV 形式に特化した内容の新勧告案として進めることで合意され、SG6 へ提出された (6B/TEMP/55) (SG6 にて仮採択、PSAA)。なお、3DTV というのはステレオスコピック 3DTV であることを明確にするため、タイトルの 3DTV という用語に脚注としてその旨を記載してある。

- MPEG および ITU-T SG16 への HEVC に関するリエゾン文書の送付
 - ・ 2012 年秋会合において、ITU-T SG16 および MPEG に対して、HEVC に関する要望事項として、UHDTV の映像データは 10 ビット長と 12 ビット長が規定されており、HEVC が両方のビット長に対応すること、及び HDTV や SDTV のインタレース方式の映像形式に対応することの 2 点を記載するリエゾン文書 (6B/78 An.8、9) を送付した。
 - ・ 今会合では MPEG から高効率映像符号化(HEVC)に関する 2 件のリエゾン文書が入力された。1 件は、HEVC はプログレッシブ方式およびインタレース方式両方の映像形式に対応している旨のリエゾン文書(6B/85)であり、もう 1 件は、HEVC 規格の初版を 2013 年 1 月に策定し、今後、4:4:4 や 4:2:2 の色サンプリング、および 10bit 超のビット深度への対応や、マルチビュー拡張を行っていくことを知らせるリエゾン文書(6B/89)である。これを受けて、HEVC に関する情報提供に感謝するとともに、HEVC のインタレース用の符号化ツールは H.264 と同等以上の特性を持っているかを確認するリエゾン文書が作成された。エディトリアルな修正後に承認され、MPEG に送付された(6B/TEMP/58)。
 - ・ 前記と同様に、ITU-T SG16 から、HEVC が UHDTV 映像データの 10 ビット長に対応しており、今後 12 ビット長もサポートしていく旨のリエゾン文書 (6B/90)が入力され、そのことに対する感謝の意を伝えるリエゾン文書が作成された。エディトリアルな修正後に承認され、ITU-T SG16 に送付された (6B/TEMP/62)。
- 勧告 BS.1584「デジタル放送用オーディオ符号化システムの要求条件」の内容再編の提案
 - ・ イタリアより勧告 BS.1584 の Appendix 部分を分離し、新レポートにすることを提案する寄書(6B/98)が提出された。提案の再編を行うことで、参考情報部分のアップデートは手続き的には容易になるが、勧告とレポートに分かれることで読みにくくなるというデメリットもある。頻繁にアップデートされるものではないと判断し、提案のような変更は行わないことで合意された。
- その他の入力文書に関して
 - ・ SWG1 で取り扱うことになった符号化に関する以下の入力文書に関しては、内容を留意するに止めた。
 - MPEG-H 3D Audio におけるリスニングテスト関連情報のリエゾン文書 (6B/88)
 - 制作用、伝送用、1 次・2 次配信用、送出用、および関連アプリケーション用の汎用的デジタル映像ビットレート低減符号化 (6B/115)

(3) ファイル

入力文書 6B/91
 出力文書 なし
 審議結果

- 音声ファイル形式に関する MPEG からのリエゾン文書
 - ・ MPEG から音声ファイル形式に関するリエゾン文書(6B/91)が入力されたが、WP6C が既にリエゾン返書を作成していたため、内容を留意するに止めた。

(4) 多重化

入力文書 6B/86

出力文書 6B/TEMP/59

審議結果

- MPEG への MMT に関するリエゾン文書の送付
 - ・ MPEG から、MMT (MPEG Media Transport) の標準化の概要を知らせるリエゾン文書(6B/86)が入力された。日本(WP6B 議長)から、MMT は多重化の新しい技術であり、とても興味深いので、もっと情報を集めるべきとの意見があり、引き続き情報提供を求めるリエゾン文書(6B/TEMP/59)を作成した。ただし 6B/TEMP/59 は、SWG1 で合意したテキストではなく、古いバージョンであったため、SWG1 で合意したテキストに変更された後に合意され、MPEG へ送付された。

(5) メタデータ(BWF)

入力文書 6B/84、100、109、111

出力文書 6B/TEMP/57

審議結果

- 勧告 ITU-R BR.1352 改訂案「情報技術媒体に記録されたメタデータ付音声番組素材のファイル交換形式」
 - ・ 2012 年秋の SG6 会合で、BWF (Broadcast Wave Format)を規定する勧告 BR.1352-3 の改訂案が仮採択されたが、採択・承認手続き時にドイツが EBU 勧告と ITU-R 勧告との間で、同じバージョン番号で異なるパラメータを規定することから互換性が失われることを理由に反対し、WP6B に差し戻された。今回、この件に関連する寄書として、SG6 議長(6B/84)、EBU(6B/100)、FreeTV Australia(6B/109)、ドイツ(6B/111)から入力があった。なお、日本は、採択・承認手続き時にバージョン番号を改訂案の 2 ではなく、3 に変更することで上記の問題を回避するエディトリアル修正提案を行っており、このことは SG6 議長からの寄書(6B/84)に記載されている。
 - ・ EBU とドイツから前記の日本提案を含むいくつかの解決法が提案され、また FreeTV Australia からは今回の改訂案を取り止めるべきとの提案がなされた。単純に同じ Version 番号で異なるパラメータが規定されているという問題だけでなく、米国と欧州のダイアログラウドネスを巡る(潜在的な)主張の隔たりがあるため、差し戻された改訂案を議論しても解決することはできないと判断し、柔軟性・拡張性のある新しい音声ファイル形式を確立すべきとの方向性が了承された。その後、SWG1 議長と寄書を提出した国を中心に関係者がアドホックの形で集まり、勧告 BR.1352 の改訂は取り止めること、新たな柔軟性・

拡張性のある音声ファイル形式を検討するラポータグループ(RG)を設立すること、RGとしての所掌事項として13項目を列挙するDraft Decisionが作成された(6B/TEMP/57)。これには、要求条件の確立、XMLの使用に関するガイドライン、多チャンネル長時間番組用フォーマット、メタデータ、相互運用性、互換性、他のSDOとの連携など音声ファイル形式に関する幅広い項目が記載されている。現行の音声ファイル交換形式の問題点を明確にし、それを解決する方法を検討して、2013年秋会合で報告する予定になっている。RG議長はDavid Marston (BBC)が指名されている。

- ・ なお、TEMP/57は承認時に「Version 2」というテキストを削除した後に承認され、議長レポートに添付されることになった。

(6) その他

入力文書 6B/80、82、97、99、101、119、123

出力文書 6B/TEMP/60、61、63、64

審議結果

● SG6の全てのITU-Rオピニオンを廃止する提案

- ・ イタリアより、SG6所掌の4つのITU-Rオピニオン(ITU-R 15-3、ITU-R 16-3、ITU-R 40、ITU-R 90)の廃止を提案する寄書(6B/97)がSG6とその全てのWPに入力された。審議の結果、既に陳腐化しており、廃止が適当であると判断して、WP6Bの所掌であるOpinion 90の廃止を提案するTEMP文書を作成した(6B/TEMP/60)。承認され、SG6へ提出された。(SG6にて承認)

● Worldwide Broadcasting Roamingのためのコンシューマ用受信機に要望される基本機能

- ・ イタリアとバチカンから研究課題136/6 Worldwide Broadcasting Roamingに関する寄書(6B/99)が入力された。この寄書は「Worldwide Broadcasting Roaming」検討のコンセプトを提案したもので、定義の変更、受信機の性能、必要なメタデータの検討、プログラム識別に必要な情報の検討、ラポータグループ・ジョイントラポータグループの設立の検討を提案している。SG6議長からWP6Bの所掌範囲はメタデータに関する部分であるとの発言があった。
- ・ 日本から、「今後の寄書にはCASやセキュリティなどの考え方を明確にするものが求められる。」「受信機がメタデータを処理する前に、DVB、ATSC、ISDBフォーマット等、どのようなフォーマットのメタデータを含んでいるか識別することが重要である。受信機メーカーに、フォーマットを識別可能か、放送波の情報からの手助けを必要としているか等を確認し、放送波に何か情報を加える必要があるか検討するべきである。」などの意見が出された。これに対し、SWG1議長からMPEG、DVB、ITU、IECそれぞれ注力している部分があり、切り分けが難しく、悩ましいとの発言があった。
- ・ WP6B議長から「ITU-Rはそれぞれの放送システムの基礎的仕様のみを規定している。それ以上の詳細仕様に関しては、国、地域、SDO等のレベルで規

定し、運用している。世界中に様々な仕様があり、受信機メーカーはその仕様に準拠した受信機を世界中で供給しており、実装はメーカーに依存している。本件で ITU-R が何をできるかよくわからない。」「実質的には既存のサービスにメタデータを増やすことは不可能である。」「IEC TC100 に対して Worldwide Roaming 受信機に関する要求を伝えて、受信機にどのような機能が必要か尋ねる必要がある。」などの発言があり、SWG1 議長は同様の意見である旨の発言をした。

- ・ SG6 議長から「現実には、ポルトガルで購入した受信機で言語設定をポルトガル語にした場合は HbbTV を視聴できないが、言語設定をフランス語やドイツ語に設定すれば HbbTV を衛星放送で視聴できる様な例もある。」「少なくとも DVB には追加のメタデータを放送するスペースが残っており、プライベートセクションのビットに多くの未定義部分があるので、受信機メーカーと合意すれば追加のメタデータを放送することに利用できる。」等の発言があった。
 - ・ イタリアから、コンピュータ技術は日進月歩であり、実現不可能に思えることが将来可能になるはずで、それほど悲観的ではないとの発言があった。
 - ・ 検討の結果、寄書をもとに、「Worldwide Broadcasting Roaming」のためのコンシューマ用受信機への対応状況に関する質問、ITU-R 側で受信機が持つべき機能として検討している内容等を伝えると共に、ITU-R と協調して Worldwide Broadcasting Roaming を実現しようという考えを持っているかを問い合わせるリエゾン文書を作成した。エディトリアルな変更を行った後に合意され、IEC TC100 と ITU-T SG16 に送付された(6B/TEMP/63)。
 - ・ なお、SWG1 議長は、受信機が持つべき機能や要求条件について検討するが、受信機的设计、仕様については検討しないことを明言した。
 - ・ なお、ルワンダからも「Worldwide Broadcasting Roaming」に関する寄書(6B/119)が入力されたが、審議時間に不在だったので、寄書についての説明は行われなかった。
- 新研究課題の提案「ラウドネス準拠の識別方法」
- ・ オーストラリアから「自動ダイナミック制御を行うべき音源ソースと行うべきでない音源ソースを制御できる信号規定を行うべき」との新研究課題提案(6C/137)が WP6C に入力された。「Signalling」は WP6B の所掌範囲であるので、WP6C への寄書と WP6C で作成した新研究課題草案が WP6B にリエゾン文書(6B/123)として送付された。WP6B と WP6C の所掌範囲を考慮しながら、研究内容に関してさらに精査する必要があり、今回は新研究課題草案に止め、議長レポートに添付されることになった(6B/TEMP/61)。WP6C の所掌範囲に入るかもしれない研究項目があるため、研究課題に記載された各項目について WP6C でも精査してもらうことを目的としたリエゾン文書が WP6C へ送付された(6B/TEMP/64)。

- 他の入力文書に関して

- ・ SWG1 で取り扱うことになった以下の入力文書に関しては、内容を留意するに止めた。
- ・ ITU-T FG SmartCable の活動と会合についてのリエゾン文書(6B/80)
- ・ ITU-D SG1 からの“ICT”という用語の定義の推敲に関するリエゾン文書(6B/82)
- ・ 放送業務に関連する用語の定義を ITU 用語データベースへ追加する提案(6B/101)

3.2 マルチメディア放送、ハイブリッド放送 (SWG-2)

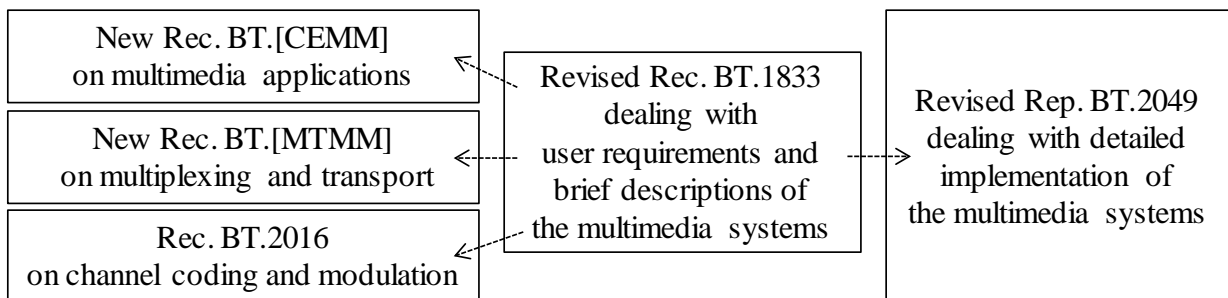
(1) 携帯受信向けマルチメディア放送システム

入力文書 6B/78 An.2、An.3、106、107、114

出力文書 6B/TEMP/52、53 (Rev.1)

審議結果

- 勧告 BT.1833-2「携帯受信向けマルチメディア・データ放送」改訂草案
- レポート BT.2049-5「携帯受信向けマルチメディア・データ放送」改訂草案
 - ・ 携帯受信向けマルチメディア放送・データ放送を規定する勧告 BT.1833 の再編に関して前回会合で合意された内容は、要求条件と各システムの概要を記載する勧告 BT.1833、マルチメディア符号化・モノメディア符号化に関する新勧告、伝送・多重化方式に関する新勧告の 3 つの勧告とレポート BT.2049 へ分割するというものである。その関係は下記のようになっている。



(矢印は参照を表す)

- ・ 2012 年秋会合では、新勧告草案 BT.[CEMM]「移動受信向けマルチメディア放送システムにおけるコンテンツ要素」(6B/78 An.3)、BT.[MTMM]「移動受信向けマルチメディア放送システムにおける多重化・伝送方式」(6B/78 An.2)の 2 つの新勧告草案が作成されており、議長レポートに添付されていた。
- ・ 今会合では、勧告 BT.1833-2 (6B/107)およびレポート BT.2049 (6B/106)の改訂草案がラポータ(青木秀一：日本)から入力され、また DVB-T2 に関する記述の追加提案(6B/114)がウクライナから提出された。ラポータからの勧告 BT.1833 改訂草案は異議なく了承され、レポート BT.2049-5 改訂草案に関してはラポータ提案にウクライナ提案を追加した改訂草案が作成され、了承された。今会

合で SG6 に提出すべきとの意見もあったが、4 つの文書を一括して SG6 に提出する必要があること、変更箇所が非常に多いことから、重複や不整合などの観点を含めて 6 ヶ月間かけて十分に精査・確認すべきであるとの意見があり、結局、草案に止めることで合意された。

- ・ 2013 年秋会合で、今会合で作成された勧告 BT.1833-2 改訂草案(6B/TEMP/53(Rev.1))およびレポート BT.2049-5 改訂草案(6B/TEMP/52)、前回会合で作成された新勧告草案 BT.[CEMM]、BT.[MTMM]の 4 つの文書を審議し、一括して SG6 に提出することが期待されている。なお、2 つの新勧告草案は 2012 年秋会合時から変更がないため今会合の議長レポートに添付しないが、継続して審議することが確認されている。

(2) ハイブリッド放送

入力文書 6B/78 An.4、An.6、87、92、93、113、116、117、118

出力文書 6B/TEMP/42、43、44、45(Rev.1)、46、47、66

審議結果

- 新勧告案「放送指向型ハイブリッド放送（放送・広帯域通信統合システム）とその想定される利用法に対する一般要求条件」
 - ・ 2012 年秋会合で作成された上記の新勧告草案(6B/78 An.4)に対して、独 ZDF から修正提案(6B/117)が提出された。審議の結果、ZDF 寄書を反映したうえで、放送事業者と視聴者が最終的なサービスの授受の関係にあること、Video On Demand 実行中であってもそれが放送事業者が提供するサービスの一環である限り、動画とアプリケーションは同期させるべき関係にあることを明確にするように修正を行った。また、ハイブリッド放送(IBB)システムの定義を脚注に追加した。これらの修正を行った後、新勧告案(6B/TEMP/43)として SG6 へ上程することが合意された。
- 新レポート案「ハイブリッド放送（放送・広帯域通信統合システム）」
 - ・ 2012 年秋会合で作成された放送指向型ハイブリッド放送（放送・広帯域通信統合システム）に関する新レポート草案へ向けた作業文書(6B/78 An.6)に対し、独 ZDF から HbbTV に関する情報更新の提案(6B/116)、日本より Hybridcast システムを追加する提案(6B/113)が提出された。新たな情報に基づきドラフティング作業を行った。Annex 1 に収録されていた HbbTV システムに関しては独 ZDF 寄書に沿って情報更新し、日本寄書の Hybridcast システムに関する情報を新 Annex 2 として追加、既存の BML を用いたハイブリッド放送サービスシステムを新 Annex 3 へ移行させる変更を行った。また、新勧告案「放送指向型ハイブリッド放送（放送・広帯域通信統合システム）とその想定される利用法に対する一般要求条件と同様に、ハイブリッド放送(IBB)システムの定義を脚注に追加した。これらの修正が行われた後、作業文書であるが、新レポート草案に止めるよりも、新レポート案(6B/TEMP/47)として SG6 に提出すべきとの提案があり、了承された。

- 新勧告草案「放送指向型ハイブリッド放送（放送・広帯域通信統合システム）に対する技術要求条件」
 - ・ 2012 年春会合で作成された放送指向型ハイブリッド放送（放送・広帯域通信統合システム）の技術要求条件に関する新勧告草案へ向けた作業文書(6B/37 An.3)に対して、ラポータグループより ITU-T 勧告 J.205「放送・広帯域通信統合(IBC)デジタルテレビジョンを用いたアプリケーション制御フレームワークの要求条件」を技術要求条件として用いること、放送指向型システムとして IBC システムを検討する場合の ITU-T 勧告 J.205 の適用性に関する補足情報を追加する提案(6B/118)が提出された。審議において、ラポータグループからの提案内容が受け入れられ、それに従い変更を行った文書が作成され、新勧告草案として議長レポートに添付することが合意された。
- リエゾン
 - ・ 上記新勧告案、新レポート案および新勧告草案に関する進捗状況を ITU-T SG9 (6B/TEMP/44)、SG16(6B/TEMP/42)、FG-AVA(6B/TEMP/45(Rev.1))へ連絡するリエゾンを作成し、送付した。
 - ・ ITU-T FG SmartCable TV に対して、今後も継続した情報の交換を希望する旨のリエゾン返書(6B/TEMP/51)を作成し、送付した。
- 今後の検討体制
 - ・ 新勧告案「放送指向型ハイブリッド放送（放送・広帯域通信統合システム）とその想定される利用法に対する一般要求条件」と新レポート案「ハイブリッド放送（放送・広帯域通信統合システム）」の SG6 への上程が合意され、また、ITU-T SG9 で、ハイブリッド放送(IBC)システムのリファレンスアーキテクチャの勧告(勧告 J.206)が承認されたことを受けて、ハイブリッド放送に関するラポータグループの活動期間を延長すること、所掌事項として、技術要求条件のさらなる検討、ITU-T 勧告 J.205 および J.206 を評価して参照アーキテクチャを提案すること、今後のシステム勧告案へ向けた方向性を提案すること、新レポートの更新へ向けた活動を行うことが合意され、これらの所掌事項を情報更新した決定文書(6B/TEMP/66)を作成した。
 - ・ ハイブリッド放送(IBC)システムに関して、ITU-T SG9 とのセクター間ラポータグループ(IRG)の可能性について議論された。現在、WP6B におけるハイブリッド放送(IBC)システムに関するラポータグループ共同議長の 1 人(武智秀：日本)が ITU-T SG9 でハイブリッド放送(IBC)システムを扱う研究課題(Q.4/9)のラポータを兼ねており、直ちに IRG が必要な状況ではないが、その有用性は認識された。正式な IRG 活動開始には決議 1-6 の改訂が必要であり、総会(RA)での承認が必要となるが、暫定的な IRG 活動には RAG に対してその必要性を説明し、許可を受ければ可能になるとの意見があった。ただし、ITU-T SG9 から、IRG を設立したいとの提案があったわけではなく、IRG の具体的な活動・運営方法も見えないことから、SG6 会合における WP6B の概要報告の

なかで、このような活動に関心を持っていることを WP6B 議長が発言することに止めることにした。なお、ITU-T SG9 の次回会合が 2012 年 12 月に予定されていることから、WP6B の秋会合時に詳細な議論を行っても 12 月会合に間に合うとの判断もあった。

(3) アクセサビリティ

入力文書 6B/79、83、95、96 (Rev.1)、112、120、121、122、126

出力文書 6B/TEMP/48、49、50

審議結果

● 字幕

- ・ 字幕の制作、データ交換、放送方式に関する情報を提供する日本寄書(6B/112)が提出された。「字幕の縦書きなど考えたこともなかったし、この寄書は非ラテン系文字における字幕の取り扱いの難しさを表している」という SG6 議長のコメントに代表されるように反響は大きかった。ITU-R の勧告・レポート等で字幕に関する情報がとても少なく古いことが指摘された。そこで、字幕に関する情報を広く収集し、新レポートを作成するとの方向で合意がなされ、日本寄書をもとに新レポートへ向けた作業文書(6B/TEMP/48)が作成された。

当初、非ラテン系文字に関する情報が注目を集め、「非ラテン系文字における字幕の制作、配信、交換」というレポートタイトルが提案されたが、非ラテン系にのみ限定する理由はないとの発言が日本からあり、「世界中のすべての文字セットにおける字幕の制作、配信、交換」という表現に変わった。しかし、ラテン系文字における字幕の規格に関しては、かなりの情報が欧米人にとって読みやすい言語によって公開されているものの、非ラテン系文字による字幕に関する情報は不足しているとのコメントが米国よりあった。最終的に「世界中のすべての文字セット(ラテン系および非ラテン系)における字幕の制作、配信、交換」というタイトルで合意されたが、非ラテン系文字の字幕を使用している国が自国システムの情報提供を意識するようとの意向に基づく。

● ITU-T FG AVA へのリエゾン返信

- ・ ITU-T FG AVA から手話サービスの制作ガイドラインに関するコメントを求めるリエゾン文書(6B/96(Rev.1))が WP6B および WP6C へ入力された。先に開催された WP6C が審議し、ITU-T FG AVA に対する窓口になっている WP6B に返書案(6B/121)として入力した。WP6B で検討した結果、WP6C での議論と同様に、WP6B の所掌範囲を超えるものと考えられたことから、本件に関しては WBU 及びその傘下の 8 つの放送連合(ABU, EBU, NABA など)にコンタクトすることを勧める内容のリエゾン返書を作成し、WP6B と WP6C の連名で、送付した(6B/TEMP/49)。
- ・ ITU-T FG AVA から字幕サービスに関する情報提供を求めるリエゾン文書(6B/95)が入力された。コンタクト先に CEA、SMPTE、SCTE を加えるべきで

あること、ITU-R 勧告 BT.653-3 の事例があること、を記載した WP6C 作成の返書案(6B/122)をもとに、ITU-R 勧告 BS.1894(字幕付きラジオ)の事例を追加した返書案を作成し、WP6B と WP6C の連名で、送付した(6B/TEMP/50)。

(4) VIS

入力文書 6B/110、124

出力文書 6B/TEMP/54

審議結果

- ・ レポート BT.2249 デジタル放送とマルチメディア映像情報システム(VIS)に、多機能型デジタルテレビ放送に関連する ITU-R 勧告・レポート・研究課題等の相関関係を示す図を追加する提案がロシア寄書(6B/110)として提出された。ロシアが提案した相関関係を示す図には大きな矢印が使われており、時間軸上の相対関係を示すとの誤った解釈をされやすいとの懸念が示され、シンプルなデザインに変更した後、合意された。レポート BT.2249 の改訂案(6B/TEMP/54)として SG6 へ提出された。

3.3 その他（全体会合）

(1) その他

入力文書 6B/81、94、103、105

出力文書 無し

審議結果

以下の寄書はすべて WP6B へは情報文書として入力されたものであり、全体会合で留意された。

- WP5C から WP1A と WP1B へのリエゾン文書 コグニティブ無線における今後の研究について (6B/81)
- ITU-T FG-AVA から ITU-T SG9 への映像・音声の品質評価法に関するセクター間ラポータグループ設置提案についてのリエゾン返書 (6B/94)
- 勧告 BR.785 「複数のメディア環境における番組リリース」を置き換える新勧告案の提案 (6B/103)
- 高品質 HDTV 番組制作等に 4K フォーマットを使う提案 (6B/105)

3.4 ラポータとラポータグループ

以下に示す 2 人のラポータと 3 つのラポータグループが継続・新設されることが確認された。「インタラクティブ TV のためのアプリケーションコンテンツ形式と環境の調和」のラポータグループ（議長：武智 秀）は、ハイブリッド放送(IBB)システムと審議内容に重複があると判断され、ハイブリッド放送(IBB)システムのラポータグループに吸収・統合されることになり、今会合で解散することが了承された。

BWFに関する勧告 BR.1352 の改訂案は採択承認手続き段階で反対があり、WP6B に差し戻されたが、今会合でこの改訂案に対する審議は打ち切り、より柔軟性や拡張性のある新しい音声ファイルフォーマットの研究を開始することが合意された。そのためのラポータグループが新設され、議長に David Marston (BBC) が指名された。

ラポータの所掌事項	ラポータ名	
BSS に関する SG6 と SG4 とのリエゾン	西田幸博	継続
勧告 BT.1833 の再構築のための勧告・レポートの検討	青木秀一	継続
ラポータグループの所掌事項	ラポータグループ議長名	
WP6B が所掌する勧告、レポートの見直し	Peter Dare、平川秀治	継続
ハイブリッド放送 (IBB) システム	Ana Eliza Faria E Silva 武智 秀	継続
音声ファイルフォーマット	David Marston	新設

3.5 次回開催予定

WP6B は、2013 年 11 月 18 日(月)～21 日(木) (4 日間) の開催が予定されている。

4 あとがき

今会合でのトピックをいくつか取り上げてみる。前会合で作成され、議長レポートに添付されていた新勧告草案 BT.[3D-BRR]「放送における HDTV 3DTV 番組の国際番組交換のための伝送方式」に関しては、前会合で映像形式に依存しない形での勧告化を主張した米国から何も寄書が出されず、HDTV に特化した内容のまま新勧告案として SG6 会合に提出された。米国での NAB SHOW の直後に開催されたこともあり、この 6 ヶ月間に 3DTV に対する期待度は大きく変化してしまったようで「3DTV は死んだ」と発言する参加者もいたが、「二眼 3DTV は死んだかもしれないが本当の 3DTV への期待は依然大きい」との SG6 議長の発言はテレビ技術の開発、放送サービスの発展を導いていくリーダーとして参加者に弛まぬチャレンジを求めた言葉として印象に残った。

新レポート案「SDI (シリアルデジタルインターフェース) 設備と IP (インターネットプロトコル) 設備の統合」は IP 技術を利用した伝送方式をスタジオや局内伝送に導入した日本の民間放送局の事例を紹介したもので高い関心を集めた。今後、IP ネットワークを利用しての番組制作や番組交換における課題とその解決法の寄与が期待されており、SDI 形式とは異なるインターフェースは WP6B にとって標準化を進める 1 つの領域となろう。

一方で、研究課題の改訂や WP6C での新勧告草案の議論のなかで、UHDTV 用デジタルインターフェースが ITU-R で審議されていないことが取り上げられた。UHDTV の番組制作、番組交換、HDTV との方式変換などを行うにあたり、標準化されたインターフェースは必須であることは言うまでもなく、議長レポートに次会合への寄与が強く促されている。日本として、UHDTV 用デジタルインターフェースの規格案を次会合に提案できるように準備を急ぐ必要がある。

今回、放送指向型ハイブリッド放送（放送・広帯域通信統合システム）に対する一般要求条件が新勧告案として SG6 会合に提出されたが、この分野では、技術要求条件、参照アーキテクチャ、システム勧告の方向性などがラポータグループを中心に検討されることになっており、次会合でも多くの成果が期待されている。また、SG6 会合でも議論された ITU-T とのセクター間ラポータグループを導入すると仮定すれば、WP6B ではこの分野がその研究対象として最も可能性が高いように思われるが、セクター間ラポータグループの審議や運用形態についてまだあまり知られていない。秋会合で審議されると思われるので、可能な範囲で情報収集に努めておきたい。

最後に、勧告 BT.1833-2「携帯受信向けマルチメディア・データ放送」の再構築に関しては、ラポータに指名された青木秀一（NHK 技術研究所）によって、3 つの勧告と 1 つのレポートが準備された。非常に膨大な量の編集であるため今回は草案に止め、次会合までに 4 つの文書内容を精査することが宿題となったが、今会合で SG6 会合に提出すべきとの意見が出るほどの完成度で、他国から、その功績に対して多くの賞賛の声があったことを申し添えておきたい。（文責：清水 勉（TBS テレビ））

表 1 日本からの出席者

氏 名	所 属
山内 匠	総務省 情報流通行政局 放送技術課 国際係
西田 幸博	日本放送協会 放送技術研究所 テレビ方式研究部 主任研究員
武智 秀	日本放送協会 放送技術研究所 次世代プラットフォーム研究部 主任研究員
平川 秀治	(株)東芝 技術企画室 主監(標準化担当)
土居 清之	(社)日本民間放送連盟(日本テレビ放送網(株) 技術統括局 技術開発部)
依田 摂子	(社)日本民間放送連盟(株)テレビ朝日 技術局 システム開発部)
井上 幸	(社)日本民間放送連盟(株)フジテレビジョン 技術開発局 技術開発室 開発推進部 部長職)
清水 勉	(社)日本民間放送連盟(株)TBSテレビ メディア戦略室 技術戦略部 スペシャリスト部長)

表 2 入力文書一覧 (50 件)

入力文書 番号 (6B/)	提出元	題 名	審議 (SWG & Plenary)	出力文書 番号 (6B/TEMP/)
78	Chairman, WP 6B	Report on the meeting of Working Party 6B (Geneva, 22-26 October 2012)	All	65
An1		Preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[3D-BRR] - Transport of HDTV 3DTV programmes for international programme exchange in broadcasting	SWG-1	55
An2		Preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[MTMM] - Multiplexing and transport schemes in multimedia broadcasting systems for mobile reception	SWG-2	—
An3		Preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[CEMM] - Content elements in multimedia broadcasting systems for mobile reception	SWG-2	—
An4		Preliminary draft new Recommendation - General requirements for broadcast centric integrated broadcast-broadband (IBB) systems and their envisaged utilization	SWG-2	43
An5		Preliminary draft new Report ITU-R BT.[SDI-IP] - Integration of an SDI infrastructure with an IP-based infrastructure	SWG-1	56
An6		Working document towards a draft new Report - Integrated broadcast-broadband (IBB) systems	SWG-2	47
An7		Revision of the mandate of the Rapporteur Group on integrated broadcast-broadband (IBB) systems	SWG-2	66
An8		Liaison statement on HEVC standardization status	SWG-1	—
An9		Liaison statement to ISO/IEC/ JTC1/SC29/WG11 - Standardization on HEVC and interactive applications formats	SWG-1	—
An10		Liaison statement to ITU-T FG AVA	SWG-2	—
An11		Liaison statement to ITU-T SG 9 - General requirements for broadcast centric integrated broadcast-broadband systems	SWG-2	—
An12		Liaison statement to ITU-T Study Group 9 on revision of Recommendation ITU-R BT.1699	SWG-2	—
An13		List of input documents (Docs. 6B/37 - 6B/77)	—	—
An14		List of output (TEMP) documents (Docs. 6B/TEMP/23 - 6B/TEMP/41)	—	—
79	ITU-T FG AVA	Liaison statement from FG-AVA to ISO on media access service	SWG-2	—
80	ITU-T FG SmartCable	Liaison statement on FG SmartCable activities and meetings	SWG-1 SWG-2	51
81	WP 5C	Liaison statement to Working Parties 1A and 1B (for information to WPs 4A, 4B, 4C, 5A, 5B, 5D, 6A, 6B, 6C, 7B, 7C, 7D on further studies on cognitive radio systems (CRS))	Plenary	—
82	Chairman, SG 6	Liaison statement from ITU-D Study Group 1 on the elaboration of a working definition of the term "ICT"	SWG-1	—
83	ITU-T FG AVA	Reply liaison statement to JCA-AHF on audiovisual media accessibility	SWG-2	—
84	Chairman, SG 6	Proposed changes to draft revision of Recommendation ITU-R BR.1352 - File format for the exchange of audio programme materials with metadata on information technology media	SWG-1	57

入力文書 番号 (6B/)	提出元	題 名	審議 (SWG & Plenary)	出力文書 番号 (6B/TEMP/)
85	ISO	Liaison statement on HEVC coding of interlaced video	SWG-1	58
86	ISO	Liaison statement on MPEG Media Transport	SWG-1	59
87	ISO	Liaison statement on system for integrated broadcast-broadband services	SWG-2	—
88	ISO	Response to liaison statement and information about listening tests to be foreseen in MPEG-H 3D-Audio	SWG-1	—
89	ISO	Liaison statement on MPEG HEVC development	SWG-1	58
90	ITU-T SG 16	Reply liaison statement on HEVC standardization	SWG-1	62
91	ISO	Liaison statement on audio file format	SWG-1	—
92	ITU-T SG 9	Liaison statement to ITU-R Working Party 6B - Information on and views about the work of integrated broadcast and broadband DTV application control framework Recommendations and revision of Recommendation ITU-T J.201	SWG-2	44
93	ITU-T FG AVA	Reply liaison statement on integrated broadcast-broadband systems	SWG-2	45 (Rev.1)
94	ITU-T FG AVA	Reply liaison statement to ITU-T Study Group 9 on proposed intersector Rapporteur Group on audiovisual quality assessment among ITU-T Study Group 9, ITU-T Study Group 6	Plenary	—
95	ITU-T FG AVA	Liaison statement to ARIB, ATSC, DVB, SARFT and SBTVD on subtitle/captioning system	SWG-2	50
96 (Rev.1)	ITU-T FG AVA	Liaison statement to ARIB, ATSC, DVB and SBTVD on signing service guideline	SWG-2	49
97	Italy	Proposal to suppress all the ITU-R Opinions in the purview of Study Group 6	SWG-1	60
98	Italy	Proposal to reorganize the content of Recommendation BS.1548 "User requirements for audio coding systems for digital broadcasting"	SWG-1	—
99	Italy , Vatican City State	Basic desirable functionalities of consumer receivers for worldwide broadcasting roaming	SWG-1	63
100	EBU	Version compatibility in Recommendation ITU-R BR.1352 - File format for the exchange of audio programme materials with metadata on information technology media	SWG-1	57
101	SG 6 Rapporteur to the CCV	Proposal to add a number of broadcasting terms, definitions and/or acronyms to the ITU terminology database	SWG-1 SWG-2	—
102	BR Study Group Department	Status of texts	All	—
103	CBS	Proposed replacement of Recommendation ITU-R BR.785	Plenary	—
104	BBC, CBS	Considerations on the preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[3D-BRR] - Transport of HDTV 3DTV programmes for international programme exchange in broadcasting	SWG-1	55
105	BBC, CBS	Improved picture quality provided by capturing, editing, finishing, and archiving HDTV programmes in 3 840 × 2 160 ("4K") UHD TV	Plenary	—
106	Rapporteur – Revision to Rec. ITU-R BT.1833	Proposal of preliminary draft revision of Report ITU-R BT.2049-5	SWG-2	52

入力文書 番号 (6B/)	提出元	題 名	審議 (SWG & Plenary)	出力文書 番号 (6B/TEMP/)
107	Rapporteur – Revision to Rec. ITU-R BT.1833	Proposal of preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BT.1833-2	SWG-2	53 (Rev.1)
108	Australia	Proposed draft revision of Question ITU-R 130-2/6 - Digital interfaces for production, post-production and international exchange of television programmes for broadcasting	SWG-1	–
109	Free TV Australia	Recommendation ITU-R BR.1352 - File format for the exchange of audio programme materials with metadata on information technology media	SWG-1	57
110	Russian Federation	Proposals for the revision of Report ITU-R BT.2249-2 - Digital broadcasting and multimedia video information systems	SWG-2	54
111	Germany	Version compatibility in Recommendation ITU-R BR.1352 - File format for the exchange of audio programme materials with metadata on information technology media	SWG-1	57
112	Japan	Status for production, emission and exchange of closed caption in Japan	SWG-2	48
113	Japan	Hybridcast - The integrated broadcast-broadband system using HTML5	SWG-2	47
114	Ukraine	Proposed revision of Report ITU-R BT.2049-5 - Broadcasting of multimedia and data applications for mobile reception	SWG-2	52
115	Rwanda	Generic bit-rate reduction coding of digital video signals for production, for contribution, for primary and secondary distribution, for emission and for related applications	SWG-1	–
116	Zweites Deutsches Fernsehen	Update of Appendix 1 (HBBTV Part) of the working document towards a draft new Report - Integrated broadcast-broadband (IBB) systems	SWG-2	47
117	Zweites Deutsches Fernsehen	Proposed update to the preliminary draft new Recommendation - General requirements for broadcast centric integrated broadcast-broadband (IBB) systems and their envisaged utilization	SWG-2	43
118	RG on IBB	Proposal on structure of Recommendation on technical requirements of IBB systems based on analysis of relationship between general requirements and technical requirements	SWG-2	46
119	Rwanda	Worldwide broadcasting roaming	SWG-1	–
120	Note by the Secretary General	ICT sectorial consultation on the role of ICTS to promote the inclusion of persons with disabilities - Request for inputs from relevant ITU-R Study Groups	SWG-2	67
121	WP 6C	Liaison statement concerning the response to ITU-T FG-AVA on signing services	SWG-2	49
122	WP 6C	Liaison statement concerning the response to ITU-T FG-AVA on subtitling	SWG-2	50
123	WP 6C	[Preliminary] draft new ITU-R Question - Methods for signalling loudness compliance	SWG-1	61, 64
124	WP 6C	Liaison statement on the proposal for the revision of Report ITU-R BT.2249-2	SWG-2	54
125	BR Study Group Department	List of documents issued (Documents 6B/78 - 6B/125)	All	–
126	WP 6A	Reply from Study Group 6 to the Note by the Secretary-General - ICT sectorial consultation on the role of ICTs to promote the inclusion of persons with disabilities	Plenary	67
127	Director, BR	Final List of Participants - Working Party 6B (Geneva, 22-25 April 2013)	–	–

表 3 出力文書一覧 (26 件)

出力文書 番号 TEMP/	題 名	文書作成 グループ	入力文書 番号 6B/	処理 (注参照)
42	Draft liaison statement to ITU-T SG 16 - Recent progress of Recommendations and Report on Integrated Broadcast-Broadband systems	SWG-2	—	LS
43	Draft new Recommendation ITU-R BT.[IBB-GENERAL] - General requirements for broadcast centric Integrated Broadcast-Broadband (IBB) systems and their envisaged utilization	SWG-2	78 An.4, 117	SG (DNR)
44	Draft liaison statement to ITU-T Study Group 9 - Recent progress of Recommendations and Report on integrated broadcast-broadband systems	SWG-2	92	LS
45 (Rev.1)	Draft liaison statement to ITU-T FG AVA - Recent progress of Recommendations and Report on the work on Integrated Broadcast-Broadband systems	SWG-2	93	LS
46	Preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[IBB-TECH] - Technical requirements for Integrated Broadcast-Broadband (IBB) systems	SWG-2	37 An.3, 118	C
47	Draft new Report - Integrated broadcast-broadband (IBB) systems	SWG-2	78 An.6, 113, 116	SG (DNRep)
48	Working document towards a preliminary draft new Report on production, emission, and exchange of closed caption for non-latin characters based languages	SWG-2	112	C
49	Liaison statement concerning the response to ITU-T FG-AVA on signing services	SWG-2	96(Rev.1), 121	LS
50	Liaison statement concerning the response to ITU-T FG-AVA on subtitling	SWG-2	95, 122	LS
51	Reply to liaison statement from ITU-T FG SmartCable	SWG-2	80	LS
52	Preliminary draft revision of Report ITU-R BT.2049-5	SWG-2	106, 114	C
53 (Rev.1)	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BT.1833-2 - Broadcasting of multimedia and data applications for mobile reception by handheld receivers	SWG-2	107	C
54	Draft revision of Report ITU-R BT.2249-2 - Digital broadcasting and multimedia video information systems	SWG-2	110, 124	SG (DRRep)
55	Draft new Recommendation ITU-R BT.[3D-BRR] - Transport of HDTV 3DTV programmes for international programme exchange in broadcasting	SWG-1	78 An.1, 104	SG (DNR)
56	Draft new Report ITU-R BT.[SDI-IP] - Integration of an SDI infrastructure with an IP-based infrastructure	SWG-1	78 An.5	SG (DNRep)
57	Appointment of a Rapporteur Group - to consider future revision of Recommendation ITU-R BR.1352 and requirements for audio file formats for programme exchange	SWG-1	84, 100, 109, 111	C
58	Liaison statement on HEVC coding of interlaced video to ISO/IEC JTC1/SC29/WG11 - Coding of moving pictures and audio	SWG-1	85, 89	LS
59	Liaison statement on MPEG media transport to ISO/IEC JTC1/SC29/WG11 - Coding of moving pictures and audio	SWG-1	86	LS
60	Proposed suppression of Opinion under the responsibility of Working Party 6B	SWG-1	97	SG
61	Preliminary draft new ITU-R Question - Methods for signalling loudness compliance	SWG-1	123	C
62	Liaison statement to ITU-T Study Group 16 - Liaison statement on HEVC standardization	SWG-1	90	LS

63	Liaison statement to ISO/IEC TC 100 - Basic desirable functionalities of consumer receivers for worldwide broadcasting roaming	SWG-1	99	LS
64	Liaison statement to Working Party 6C on preliminary draft new ITU-R Question - Methods for signalling loudness compliance	WP 6B	123	LS
65	Rapporteurs and Rapporteur Groups of Working Party 6B	WP 6B	78	Ref.
66	Revision of the mandate of the Rapporteur Group on Integrated Broadcast-Broadband (IBB) systems	SWG-2	78 An.7	C
67	Reply from Study Group 6 to the Note by the Secretary-General - ICT sectorial consultation on the role of ICTs to promote the inclusion of persons with disabilities	WP 6B	120, 126	SG

(注)

DNR: 新勧告案、DNRRep: 新レポート案、DRRep: レポート改訂案、
SG: SG6に上程 C: 議長報告に添付 LS: リエゾン文書送付 Ref.: 議長報告への参考情報